

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2020年10月1日

日蓮正宗 年間方針

御命題達成の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成と折伏実践

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で歓喜の実践

境涯開く御題目を

正しい姿勢で実践

② 異体同心の折伏で

広布へ前進

僧俗和合

講中一結

③ 御講と登山の推進で

人材育成

罪障消滅

一生成仏

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

**相談無料**

2020年9月13日の御報恩御講&amp;宗祖御難会法要の様子

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

## ① 講中のみなさまへ

我が両支部の有志は、来る10月17日の御開扉にあて、「団体付(つけ)御開扉願いを申請しました。団体での参詣はできないので、御法主上人に大御本尊への御祈念のみを賜るわけです。さて御開扉の折、最後に御法主上人は「参詣の面々、無始以来 謗法罪障消滅・信心倍增・息災延命・家内安全・一切無障碍・現当二世・心願満足・大願成就のご祈念を懇ろに申し上げました」とご挨拶をなされます。このご祈念には私たちの成仏と幸福のすべてが含まれています。つまりこの御言葉は、私たちの「願い」である以前に、大聖人から唯授一人の血脈に流れる代々上人の衆生を思う「願い」であり、大御本尊が私たちに向ける「慈悲」の全てが籠められているのです。ご報恩の信心を貫く人生、この言葉しか見つかりません。

## ② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ)

創価学会のいわゆる「昭和52年路線」という教義逸脱に対し日達上人は、池田・創価学会の反省懺悔を信頼され、昭和54年5月3日の本部総会の席上、これまでの学会問題を収束する意の御指南をされました。したがって、当時の宗門と学会との基本的関係は、反省の意を示す池田の「会長勇退・法華講総講頭の辞任」を原点とします。しかし、その数年後の池田・学会首脳の姿勢には、この反省が果たして本当だったのか疑わざるを得ないものだったのです。池田の各種会合でのスピーチや学会幹部の指導の中で、御法主上人や宗門僧侶に対する批判が続けられました。この事実は、聖教新聞では明瞭にされないものでしたが、宗務院や総本山へ、多くの学会員から手紙や電話などでその内容が寄せられていたのです。(次号につづく)

## ③ 「科学が絶対だから宗教はいらない」というあなたへ

物質文明の科学により、私たちはその多大なる恩恵にあることも事実です。しかし、現代科学の粹といわれる素粒子論は核兵器を生み、いかに悲惨な結果をもたらしたか。便利な車のブレーキとアクセルの踏み間違いが起こす悲惨な事故。いかに医学が発達しても、救えない命の姿は間違いなく在ります。人生の広く深い悩みを解決するすべは、どこにあるかを究明しなければなりません。地球上の誤りは、科学の成果を追求するあまり、それを使う人間の指導を忘れたことにあります。生活は生命の現れであり、生命の実体は厳然たる因果の法則によって成り立ちます。この世の悩みも苦しみも、仏法の永遠の生命観によってこそ、初めてその根本原因が見つかるのです。真に自身の生命と向き合うべく、日蓮大聖人の門をお訪ね下さい。